

標題 : 自治労組織内参議院議員（比例代表）の活動報告記事（24.4.15）について
発信番号 : 自治労情報2024第0079号
発信日付 : 2024年4月15日
宛先（団体） :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者（団体） : 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

連日のご健闘に敬意を表します。
参議院比例代表選挙選出の自治労組織内議員である「岸まきこ」「鬼木まこと」各参議院議員の活動報告をお送りいたします。
つきましては、県本部・単組等の、機関紙・ニュース等でご活用いただきますようお願いいたします。

1. 記事掲載URL（記事Wordファイルおよび写真データを掲載）
<https://remote2.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cabinet/index?hid=8560>

2. 記事内容

◆岸まきこ参議院議員「総務大臣に公務職場のカスハラ対策推進を求めました」

4月11日の参議院総務委員会において、「公務職場のカスタマーハラスメント問題」をテーマに質疑しました。

自治労が2020年10月に行った実態調査では、地方公務員の半数近く（46%）が迷惑行為、悪質クレームを受けていることが明らかとなりました。公務職場では何がカスハラに該当するかなどの定義が曖昧で、かつ、自治体の約4割が未だ対策していないという実態にあります。そのため、職員個人が矢面に立たされ、一人で悩みを抱え込み、結果、業務の妨げや職員の精神的負担になっているなど、自治体としても深刻な課題となっています。

さらに、災害や感染症等の対応時には、住民のストレスが募ることから公務職場でのカスハラが起きやすく、歯止めも難しい現状にあります。改めて、日ごろからカスハラの例示を明らかにし、周知するなど各自治体での対策が重要という問題提起を行い、松本総務大臣から、総務省としても自治体のカスハラ対策を推進する旨の前向きな答弁を引き出しました。

◆鬼木まこと参議院議員「憲法の理念と立憲主義を守る活動」

立憲野党の超党派議員が参加する「立憲フォーラム」は、安倍政権（当時）が推し進めようとした自民党改憲草案に基づく憲法改悪の策動に対し、市民や有識者と連携して反対の声を上げるため2013年に設立されました。活動の理念は、「人権の保障を宣言し、権力分立を原理とする統治機構を定めた憲法」を基礎にすえた「立憲主義」を堅持するため、現行憲法が果たしてきた役割を確認し、憲法を護り活かすこととされました。自治労組織内議員の相原久美子さん、江崎孝さんの両議員も設立メンバーでした。安保関連法や特定秘密保護法など国民の権利を制限する法案にも、市民とともに反対の声を上げました。

4月3日に開催された「立憲フォーラム」総会において、事務局次長に就任しました。総会では、①自民党改憲草案に基づく憲法改悪を阻止する、②立憲主義を守るため立憲野党の協力を推し進める、③新たな政治環境をみすえ立憲民主派の中軸となるという3点を活動の中心にすえ、今年度も国政の課題や国会情勢等を市民と共有するための院内集会の開催や立憲野党候補の各種選挙での勝利に向けた取組などを行うことを確認しました。

憲法の平和主義と人権擁護などの普遍的理念および国民主権の立憲主義を守るため、諸先輩方が作り育ててきた「立憲フォーラム」の仲間とともに国会内外でしっかりと活動してまいります。